

日本発ドイツ便り:チップの話

旅行で必要なお金として、一番難しいのがホテルやレストランなどで必要になるチップ。じゃないでしょうか？
大体のガイドブックには「レストランの料金には税金とサービス料は含まれています」と書かれています。

どんな時にチップが必要？どのくらい？どうやっていつ渡すの？そもそもチップって何？サービス料と違うの？

日本にない習慣なので、なかなか慣れないのですが、周りの人を観察しているうちに色々疑問もとけて、今では、なんとなく頃合いがわかってきたように思います。

まず、チップをドイツ語では Trinkgeld(トリンクゲルド)といいます。「まあこれで一杯(もちろんビールでしょうね)飲んでよ」という感じでサービスしてくれた人に小銭を渡したのが始まりなんでしょうね。日本語だと、「飲み代」的な意味合いです。

Trinkgeld の意味合いは「提供されたサービスに対する感謝の気持ち」です。少なくともドイツでは受けたサービスが最悪であれば Trinkgeld を払う必要はありません。通常のサービスであればお釣りをテーブルに残すとか、きりの良い数字に丸めるとか。(たとえば 12.8 ユーロだったら 14 ユーロ支払うとか。大満足のサービスなら 15 ユーロとか。)

観察の結果、レストラン等での Trinkgeld の支払い方としては

1. Trinkgeld を入れた金額で支払う派
 2. お会計が終わったあと、テーブルに残していく派
- に分かれるようです。

私は 1 派ですね。☺

伝票(手書きのものも多いです)を全部確認して、「じゃあ〇〇ユーロで」といってお会計。

このときの相手の表情を見れば、妥当か少なかったか多すぎたかがよくわかります。

ちなみに Trinkgeld は多すぎもいけません。ただの「分かってない成金」と思われてしまいます。

レストランはこんな感じ。もちろん高級度合いによって違います。高級であればそれなりのチップも必要ですよ。(そうすると料金の 10%位が相場。ということになるのかも)

次にホテル。

これは基本的に、「お願いしたことをやってくれた」ことへの感謝の気持ちが Trinkgeld になります。

荷物を運んでくれた。とかタクシーを呼んでもらった。とかレストランを予約してもらった。というのがこれです。

あとはホテルの格によって使い分ける必要がありますよ。(高級ホテルほどチップが沢山必要になります。でも快適に過ごす潤滑油のようなものと考えて。なので、高級ホテルに泊まる場合は宿泊料金+Trinkgeld まで考える必要があります。ちなみに高級ホテル=5 つ☆とも限りません)

渡し方の基本は、相手の目をみて、「Danke」(ダンケ:ありがとう)といいながら、握手するみたいな感じで相手の手にすっと Trinkgeld を滑り込ませます。ここで財布をもたもた開けるのはスマートじゃないので、高級ホテルに泊まるときは、いつでも出せるように小銭や小額紙幣の準備が必要です！(ここで登場するのが「マネークリップ」!)

反対に、日本のツアーではお約束になっている「枕銭」は、よっぽど部屋を汚したり、ややこしいことになった場合以外は不要と思われます。もちろん、何日か連泊して、毎日きれいにしてくれてありがとう！と思えば、枕の下ではなく、ベッドサイドかどこか分かりやすい場所に、Danke のメモとともに置いておいてください。ただ、「の

し袋」なんかに入れると、うっかり「忘れ物」と思われる可能性がありますので、現金そのままを置いてください。

あとはタクシー。これは他とは性格が違って、「渡さなくてもよい」という選択肢はないです。目安は10～15%。すごい重い荷物を運んでもらったとか、前の車を尾行してもらった、とかであれば15%に近付く。というイメージでしょうか。☺

「私はツアーしか行かないから関係ない」と思っている方！そんなことはありません！
現地でお世話になったガイドさん、バスのドライバーさんなど。感謝の気持ちは、添乗員さんに「ドライバーさんに、『お世話になりました』ってお礼言っておいてください」ではなく、感謝しているのであればドライバーさんの目を見て、「Danke」(ダンケ！：ありがとう)の一言を添えて Trinkgeld を渡してあげてください。日本と違って、「のし袋」なんかにいれる必要はありません。ホテルの場合に同じく、お札を4つくらいに折って、握手するみたいに Danke といいながら手渡してください。

これでばっちり感謝の気持ちが伝わります(+あの日本人わかるとる！と評価されます)よ。

他にはトイレとか(最初から〇〇セントと書かれているところは「料金」なので、その通り支払いの必要があります)、あんまり行く機会はないかもしれませんが、美容室やマッサージなど。

Trinkgeld は簡単ではないですが、こんな風に考えると良いですよ。

Trinkgeld は支払うべき「料金」ではなく、感謝の表現の一つ。

言葉でうまく伝えられなくても、ちゃんと相手に感謝の気持ち(と感謝の度合い)が伝わる方法。

そう考えると、慣れるのは難しいですが、なかなか良いシステムだと思いませんか？